

# 青少年を思う育成委員会 年間事業計画書（案）

1. 委員会構成メンバー ◎古藤 靖大、○石井 寛幸、木下 淳

## 2. 委員長所信（基本方針）

IT 技術が進化し続ける現代では、インターネットの普及により必要な物や情報が子どもでも容易に入手できる便利な時代となりました。一方で、かつてのように自身が動いて情報を探す努力をする機会が減少し、答えにたどり着いた時の達成感を得る経験が乏しく、探求心が育まれていないと考えます。また、インターネット上には正しい情報もあれば誤った情報もあります。その中で正しい情報を選択する能力を養う必要があります。

そこで我々は、自らの手で積極的に物事に取り組み、困難に直面した時には過去の経験から壁を乗り越えた先の景色を思い出し、困難に立ち向かうことができる青少年へと成長をしてもらうために、日常生活では関わることのない課題に子どもたちが興味を持ち自発的に行動をし、自らの手でやり遂げる機会を創ります。また、膨大な情報の中から誤った情報に惑わされず、適正な情報を選ぶ力を身に付け、目的を達成するための最適な情報を探し活用してもらうために、どうすれば達成できるか深く追及し、それを繰り返すことで目的までの道標を設定してもらいます。

技術が進化し生活環境が変わる中、いつの時代でも人はコミュニケーションを取ることが必要不可欠です。目と目を合わせ言葉を交わすことでお互いの思いを理解できます。その思いが人に対する心を豊かにさせ、明るい豊かな社会に繋がると確信しています。子どもたちの未来を思い一年間事業を展開してまいります。

## 3. 事業計画

### 1) 4月例会の開催（4月）

（目的）膨大な情報の中から、最適な情報を探し活用していただきます。

（方法）自分の目的に対して深く追求することで道標を設定してもらいます。

### 2) 7月納涼例会の開催（7月）

（目的）いつも支えてくれる家族に感謝し、家族同士の交流を深めます。

（方法）納涼例会を開催。

### 3) 9月例会の開催（9月）

（目的）積極的に物事に取り組み、困難に立ち向かえる青少年の育成をします。

（方法）自発的に行動し、自らの手でやり遂げる機会を提供します。

### 4) 12月創立記念例会の開催（12月）

（目的）OB 会員の皆様をお招きし、親睦を深めます。また、2022 年度へ向けて士気を高めます。

（方法）山常楼にて OB 会員の皆様をお招きし、懇談例会により親睦を深めます。